

台風10号で被災をされた皆様には
心よりお見舞い申し上げます。
少し涼しくなってきましたので、皆様
体調等に気をつけてお過ごしください。

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」第109号をお届けします。

当メールマガジンは、ご登録いただいた皆様に加え、
名刺交換をさせていただいた方にもお送りしております。
新着情報も多数ございますので、公文協ご担当者様におかれましては、
ぜひご所属団体、施設内で情報共有をいただけますと幸いです。

※本メールマガジンのメールアドレスは配信専用です。
このメッセージに返信しないようお願い致します。

----- 目次 -----

【1】全国公文協からのお知らせ：

文化庁 文化芸術収益力強化事業を受託／
個別施設計画の策定に関するシンポジウム／理事会・専門委員会／
来年度年会費の予算確保のお願い／
文化庁 文化芸術活動の継続支援事業 周知のお願い／
新型コロナ意見フォーラム 掲載開始／制度保険

【2】ピックアップ：

11月末までの催物の開催制限等について

【3】会員等からのお知らせ：

Lowland Jazz 「JAZZ FOR THE YOUNGER GENERATION」

【4】〈連載コラム〉保険に関するQ&A 第4回

～新たなリスクへの対策をどうするか～

【5】助成等に関する情報

【1】 全国公文協からのお知らせ

★文化庁 文化芸術収益力強化事業を受託しました

全国公文協は、文化庁委託事業 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業
「文化芸術収益力強化事業」を受託しました。

当協会の事業名は「劇場・音楽堂等コンテンツ配信ポータルサイト
『公文協アーカイブシアター』の構築及び
パイロット公演 公募動画配信事業」です。

公文協の動画配信のしくみを構築するとともに、
実際に公演動画配信を希望する劇場・団体を公募します。
公募の詳細は決まり次第、お知らせいたします。

なお、本事業の採択団体一覧は文化庁ウェブサイトからご覧いただけます。

URL : https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/92491501.html

★個別施設計画の策定に関するシンポジウム

～11月2日に開催予定です～

昨年度好評をいただいた個別施設計画に関するシンポジウムを、
今年度は、11月2日（月）にオンラインで開催する予定です。
詳細は決まり次第、お知らせいたします。

▼ 個別施設計画に関する特設サイトはこちら ▼

URL : https://www.zenkoubun.jp/support/etc_plan.html

=====

★<予告>理事会・専門委員会 開催のご案内

=====

令和2年度（2020年度）第2回理事会と専門委員会は、
現在のところ、以下の通り開催する予定です。

日時：10月27日（火）

午前 専門委員会・常設部会

午後 理事会

※前日26日（月）、専門委員会・特別部会を開催

場所：東京都中小企業会館9階 講堂 ほか

東京都中央区銀座2-10-18

新型コロナウイルス感染症の状況によっては
オンライン開催などに切り替える可能性もあります。
詳細は改めてご案内いたします。

=====

★全国公文協 正会員・準会員

～年会費の予算確保のお願い～ 〈再掲載〉

=====

日頃より、当協会の事業および運営にご理解、
ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
各会員におかれましては、来年度予算の見積、編成に
着手されていることと思います。

当協会の令和3年度の会費は、本年度と同様、28,000円の見込みです。

財政状況が厳しい折、大変恐縮ですが、会員の皆様におかれましては、
引き続きのご加入と来年度会費の予算確保をしていただきますよう、
よろしくお願い申し上げます。

▼ 詳細は全国公文協のウェブサイトをご覧ください ▼

URL：<https://www.zenkoubun.jp/about/pdf/r3kaihi.pdf>

=====

★文化庁 文化芸術活動の継続支援事業 第三次募集受付中
～支援の必要な方々に、広くお知らせください～

=====

新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けている文化芸術関係者の、活動の再開・継続に向けた取組に要する費用を補助する支援事業の第三次募集の申請受付が、9月12日から始まりました。

文化芸術関係者の苦境を鑑み
大規模な第二次補正予算が獲得できたにも関わらず、支援が必要な方々にまだまだ届いていない現状があります。
この支援事業について、皆さんの周囲の方々にご周知いただき、活用を促してまいりますよう、お願いいたします。

▼ 事業の詳細はこちらから ▼

URL : https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/20200706.html

=====

★新型コロナ意見フォーラムの掲載開始〈再掲載〉
～引き続きご意見等を募集しています～

=====

新型コロナウイルスの感染が続くなか、今できること、やらなければならないこと、これから改善すべきことなどを含め、皆様と知恵を出し合い、共有できるコーナーを全国公文協のウェブサイト開設しました。

皆様からお寄せいただいたご意見やご提言は、順次掲載を更新しています。引き続き、皆様の斬新な提言や事例紹介等の募集を行っておりますので、ぜひ、ご協力ください。

▼ 意見フォーラム募集概要・原稿フォームは公文協ウェブサイトから ▼

URL : https://www.zenkoubun.jp/covid_19/index.html

=====

★令和3年度の公文協制度保険について

=====

いざという時に役に立つ、全国公文協の保険ですが、
2021（令和3）年度の保険料お見積りを「制度保険 web サイト」にて
ご確認ください。

《印刷手順》

1. ID・パスワードを入力してログインしてください。
※ID・パスワードは保険の手引に同封してお送りしています。
2. トップページ右側の〔各種お手続き〕の
〔2021年度のお見積りはこちら〕をクリックしてください。
3. 見積書が表示されます。印刷してお使いください。

▼ 制度保険 web サイトはこちら ▼

URL : <https://zenkoubun-hoken.net/>

▼ お問合せはこちらまで ▼

見積、保険の内容について：芸術の保険協会（TEL：03-6712-6219）

ID・パスワードについて：全国公立文化施設協会（TEL：03-5565-3030）

【2】ピックアップ

=====

★11月末までの催物の開催制限等について

～客席収容率の規制緩和など～

=====

11月末までの催物の開催制限等について

収容率および人数上限の緩和が図られることとなりました。

詳細は、文化庁『11月末までの催物の開催制限等について』をご覧ください。

URL : <https://www.zenkoubun.jp/info/2020/pdf/0914afca.pdf>

これを受け、公文協では「劇場、音楽堂等における
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（5月25日）について
内容を改訂すべく、調整を進めています。

更新後のガイドラインは

近日、公文協ウェブサイトにて公開予定です。

【3】会員等からのお知らせ

=====
★Lowland Jazz

「JAZZ FOR THE YOUNGER GENERATION」のご案内
=====

我が国のほとんどの学校には吹奏楽部があり、
日々の練習、そして本番に向けて努力を惜しまず活動をしています。

本プログラムは、子供たちが「Lowland Jazz」による
ワークショップと、本番のステージを共有することで、
音楽のもつ最大の魅力を感じ取り、
演奏することの楽しさを実感してもらうプログラムです。

本企画を実施して頂ける開催館を募集します。
公共ホールが推進する地元の青少年を対象とした
社会貢献プログラムとして、ぜひご活用ください。

▼企画概要はこちらをご覧ください▼

URL : https://www.zenkoubun.jp/event/info_253.html

▼お問合せはこちらまで▼

武井明彦・武井企画（賛助会員）

TEL : 090-6529-9146

Email : akihiko-takei-XXX-@hotmail.co.jp（※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。）

【4】連載コラム：保険に関するQ&A〈連載第4回〉

～正しく理解し、正しく活用するために～

公文協制度保険は、全国公文協の会員施設に対して、
団体加入のメリットを生かし低廉な保険料で確実な補償を受けられる
業界随一ともいわれる充実した保険制度です。

当保険に関して、昨今の状況を踏まえた運用情報や
お問い合わせの多い内容についてQ&A形式でご紹介します。

■□■ 第4回 新たなリスクへの対策をどうするか ■□■

Q 情報統治について

通常はあり得ませんが、貸館事業に際して職員やボランティアスタッフが、
リハーサルで見聞きした出来事をうっかり SNS に書いてしまいました。

これが主催者や一般の方の知るところとなり、公演の演出を
変えざるを得なくなりました。

後に責任問題となり、臨時の人件費や演出料、脚本書き換えなどの
追加費用を請求されるとともに、信用回復のための措置を求められました。

A 実際に、上記のようなケース以外にも、館と内密に進めていた
次回公演の情報をうっかりスタッフが外部 SNS につぶやいてしまう。

また、つい出来心で楽屋で見つけた台本（未上演）をヤフオクに
出品してしまう。実演家たちに近い立場ゆえに特別感を感じて
そのような行為にでしてしまうのでしょうか。

どれも過去に起きたことですが、これがもとになり、主催者に多大な損失を
被らせてしまう、その責任と賠償を館長が訴えられて負うようなことが起きて
います。（次回公演予定を漏らすことで、地域のホテルが抑えられてしまう、
交通指定券が満杯になるなど、実施に支障がでってしまうケースも）
漏らした本人にはその内部情報がどの程度の秘密なのかその重要性や
影響力について想像すらできずにいます。

これらは、職員への絶え間ない教育とコンサルティングを続けると共に、
実演家と実演家情報への接近レベルを習熟度でわけてボランティアを
選別するなどするほかありません。

21年度には、新しく『e&o 保険』という保険を試験的に導入して、
すべてに対応は困難かもしれませんが、これらのリスクに備えるべく

準備を進めております。

また、一般市民が、SNS で施設に対する過激な発言や行動によって職員個人や施設に対して攻撃を仕掛けるケースもあります。

こうした事態は放置しておいても、デジタルタトゥーではありませんが、一旦 WEB にあがると永久に残り続けるものですので、法定な対応でひとつひとつ消去してゆく必要があります。

※この回答がすべての事例に該当するわけではありません。

個々のケースについては、
保険会社や保険代理店にお問い合わせください。

▼ お問い合わせは公文協制度保険代理店（株）芸術の保険協会まで ▼

<http://www.bunka.org/>

【 5 】 助成等に関する情報

現在募集中の助成・活動支援等に関する情報を紹介します。

そのほか締切まで期間のあるものは公文協ウェブサイトにも掲載しております。

あわせてご覧ください。

<https://www.zenkoubun.jp/support/grant/index.html>

★☆☆ 助成情報【 新規掲載 】 ★☆☆

=====
★令和3年度 芸術文化振興基金／文化芸術振興費補助金
～助成事業の募集が始まります～
=====

11月から、芸術文化振興基金、文化芸術振興費補助金の
助成対象活動の応募が始まります。
応募書類の公開は9月下旬の予定です。

10月1日（木）～10月30日（金）には、
助成事業への応募予定者を対象にした応募相談が
オンライン（予約制）または電話で行われます。

予約数が定員に達し次第、相談への応募は締め切られますが、
オンライン相談に参加しなくても助成への応募は可能です。

なお、今回から、要望書の提出が
インターネットを介した電子申請に変わります。

11月2日午前10時に受付URLが公開される予定です。

▼ 詳細は芸術文化振興基金の特設サイトを御覧ください ▼

https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/lp/2020/bosyuu_0.html

=====

★野村財団 音楽部門 助成

(10月1日受付開始、10月30日締切)

=====

若手芸術家の育成および

芸術文化の国際交流を目的とする活動を助成します。

▼ 詳細は野村財団のHPをご覧ください ▼

https://www.nomurafoundation.or.jp/culture/cu_koubo/music_gr01.html

=====

★ロームミュージックファンデーション 音楽活動への助成

(11月12日締切)

=====

独奏、室内楽、オーケストラ、オペラ等の公演等に対し、

1件あたり最大250万円まで助成されます。

▼ 詳細はロームミュージックファンデーションの

ウェブサイトをご覧ください ▼

<https://micro.rohm.com/jp/rmf/recruitment/subsidy/index.html>

★★★ 助成情報【再掲載】 ★★★

=====
★地域創造 公共ホール音楽活性化事業 ほか
=====

◎公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活／ダン活支援）

（9月24日締切）

現代ダンスの登録アーティストと

ダンス公演の企画制作経験が豊富なコーディネーターを公共ホールに派遣し、
公共ホールとアーティストが共同で地域交流プログラム、
または公演を企画・実施する事業です。

<https://www.jafra.or.jp/project/dance/01.html>

◎公共ホール音楽活性化事業（おんかつ／おんかつ支援）

（9月25日締切）

新進演奏家とコンサートの企画制作経験が豊富なコーディネーターを
公共ホールに派遣し、地方公共団体等と共催でコンサートと
アクティビティ（アウトリーチなどの演奏交流プログラム）を実施。
企画・制作能力を高めるための研修機会も行います。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>

◎公共ホール邦楽活性化事業（9月25日締切）

邦楽演奏家とコンサートの企画制作経験が豊富なコーディネーターを
公共ホールに派遣し、地方公共団体等と共催でコンサートと
アクティビティ（アウトリーチなどの演奏交流プログラム）を実施します。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>

◎地域の文化・芸術活動助成事業（9月30日締切）

公立文化施設で実施する音楽・演劇・ダンス・伝統芸能・美術等の
自主事業に対して助成が行われます。

<https://www.jafra.or.jp/project/grant/01.html#boshu>

◎地域伝統芸能等保存事業（9月30日締切）

地域の文化・芸術活動助成事業、地域伝統芸能等保存事業、
地方フェスティバル事業など、地域の伝統芸能を保存するための
事業に対して各種の助成が用意されています。

<https://www.jafra.or.jp/project/regional-performing-arts/03.html#boshu>

=====

★三井住友海上文化財団「地域住民のためのコンサート」
開催地募集（9月30日締切）

=====

各地の公立文化ホール等において、都道府県・市町村と財団の共同主催で、質の高いクラシックコンサートを提供する事業です。
コンサート開催ノウハウの少ないところでも、財団職員によりノウハウ提供が行われます。

申込は都道府県文化担当部局課経由となります。

▼ 詳細は三井住友海上文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp/concert/venue/>

=====

★松尾芸能振興財団 芸術活動への助成
（9月30日締切）

=====

日本の伝統芸能の振興、継承を目指す個人または団体がさらなる発展を遂げ基礎基盤を強化するための、日本伝統芸能の伝統芸能活動分野や日本各地、地域の芸能振興分野等の活動に助成されます。

▼ 詳細は松尾芸能振興財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<http://matsuo.or.jp/募集要項.html>

=====

★セゾン文化財団 現代演劇・舞踊対象 公募プログラム
（10月15日締切）

=====

◎「創造環境イノベーション」

これまでとは異なる公演形態・手法の開発、創造環境で新たに必要とされる取組み、舞台芸術の価値をより多くの人々に理解してもらうための取組みで、効果を検証できる事業を、立ち上げから支援します。

動員数の増加、観客層開拓、広報、宣伝などの新しい方法を実施し、効果を検証する「舞台芸術の観客拡大策」も引き続き募集します。

◎ 「次世代の芸術創造を活性化する研究助成」

芸術創造を持続可能にする発想転換や仕組みづくりを促す

「現代演劇や舞踊界の創造を持続可能にする構想の提案」や

「文化政策の制度や仕組みの革新を促す政策提言」を行う事業を支援します。

▼ 詳細はセゾン文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼

「創造環境イノベーション」 <http://www.saison.or.jp/application/01b.html>

「次世代の芸術創造を活性化する研究助成」

<http://www.saison.or.jp/application/01k.html>

=====
★ 関西・大阪 21 世紀協会 日本万国博覧会記念基金

(10 月 1 日受付開始、10 月 31 日締切)

=====
国・地方公共団体を除く公益的な事業を実施する団体が行う

「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」等への助成事業です。

今年度は初めて、複数年度助成事業（最長 3 年間）も実施されます。

10 月 2 日(金)には、2019 年度助成事業事例発表会と

2021 年度助成事業募集説明会が行われます。

▼ 詳細は関西・大阪 21 世紀協会のウェブサイトをご覧ください ▼

<http://www.osaka21.or.jp/jecfund/information/>

=====
★ 朝日新聞文化財団 芸術活動への助成

(11 月 26 日締切)

=====
公益法人や非営利団体等が行う音楽分野、美術分野の

プロおよびプロを目指す芸術家が出演する事業に助成されます。

▼ 詳細は、朝日新聞文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<http://www.asahizaidan.or.jp/grant/grant01.html>

=====

★三菱 UFJ 信託地域文化財団 助成事業

(11月30日締切)

=====

長年地域文化の振興に努力して来た団体が国内で行う、
地域文化振興に寄与する公演等に助成されます。

▼ 詳細は三菱 UFJ 信託地域文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/boshu.html>

=====

★コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金

～無観客公演等の動画の制作・海外配信を支援～

=====

新型コロナウイルス感染症の影響で
公演を延期・中止した主催事業者に対し、
今後実施する無観客公演などの開催や、
その収録映像を活用した動画の制作・海外配信の費用の一部が支援されます。

応募期限は2021年1月29日ですが、
期限内でも予算がなくなり次第、応募受付は終了されます。

▼ 詳細は映像産業振興機構 (VIPO) J-LODlive 特設サイトをご覧ください ▼ <https://j-lodlive.jp>

★☆☆ 助成情報【その他】 ★☆☆

対象地域が限定されている事業ですが、参考までに掲載します。

=====

★アーツカウンシル新潟 文化芸術活動支援助成事業

(9月23日締切)

=====

広く市民が参加する、市民の自主的な文化芸術活動及び
文化芸術の持つ可能性の拡大に向けた事業に支援されます。

▼ 詳細はアーツカウンシル新潟のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://artscouncil-niigata.jp/3487/>

★★★ 編集後記 ★★★

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」2020年度6号
(通巻第109号)を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今後、全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」で
取り上げてほしい内容や、「会員等からのお知らせ」で告知したいこと、
他館に質問したいこと、共有したい情報などがありましたら、
ぜひ情報をお寄せください。

この場が皆様の情報交換の場として活用されることを期待しています。

また、本メールマガジンは、どなたでも購読いただけます。

(申込先：<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>)

劇場・音楽堂等の運営に携わっている方やご興味をおもちの方に、
ぜひ、本メールマガジンをご案内ください。

▼ ご意見・ご感想、各種ご連絡・お問い合わせはこちらまで ▼

E-mail：bunka-XXX@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

▼ メールマガ配信のお申込みはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>

▼ メールマガ配信先アドレスの変更はこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/change.html>

▼ メールマガ配信停止の手続きはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/cancel.html>

◎公演企画 Navi⇒ <http://kouenkikaku.jp/>

◎公文協公演情報&TICKETS⇒ <https://stg1907.zenkoubun.kouticket.jp/>

◇◇ 公益社団法人 全国公立文化施設協会 ◇◇

〒104-0061

東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4 階

TEL：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050

E-mail：bunka-XXX@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

URL：<https://www.zenkoubun.jp>
